

■パブリックコメント回答（提出された意見等の要旨、市の考え方）

番号	意見等の詳細の番号	提出された意見等の要旨	市の考え方
1	1-1	入浜式塩田が確立されるまでの経過・経緯を説明する内容を加えて頂けたらと思います。	入浜式塩田が確立されるまでの経過・経緯につきましては、旧吉良町時代に策定しました「塩田復元整備基本計画」の中に記載がありますので、この計画に加えておりません。
	1-2	入浜式塩田から流下式塩田へ発展していますので入浜式に限定することなく流下式塩田についても設置・説明する施設を作って頂けたらと思います。	入浜式塩田の保存を考えておりますので、流下式塩田は、設置しない方向性で考えています。 流下式塩田についての資料展示は、塩焼体験ゾーン内に設置できるか検討させていただきます。
	1-3	歴史的な文献（吉良の塩田に関する）も集めて、コピーで良いので展示できるスペースも作って頂けたら良いと思います。	資料展示スペースについては、歴史民俗資料館の改修の中で設置を検討いたします。
2	2-1	民族及び地域の伝統（生活）と歴史について、学習や体験をする場所である以上、可能な限り純和風で復元して頂きたい。	周囲の風景と合うように緑化についても検討いたします。 頂いたご意見を参考に整備していきます。
	2-3	（植樹・緑陰） “白砂青松”にして欲しい。観光拠点にもする以上、一見して昔ながらの塩田風景を実感できる様にした方が良好。パーゴラは、完成予想図から指すと鉄筋にコンクリートの様だが、そんな「木に竹を接ぐ」如きは止めてしかるべき木製にして貰いたい。県道316号線が、樹の梢と枝葉で隠れて殆ど見えなくなるのが望ましい。少なくとも同県道の陸橋支柱は、完全に隠れる様にし、「絵になる」よう緑化して欲しい。	
2	2-2	（塩焼小屋） 必要に応じて往時の塩焼ができる様に、文字通り（原寸等で）復元して貰いたい。 既存の設備什器は、塩田経験者に拠ると、「釜の材質が違い（焼き難い上）直径も一回り程小さい。かん水桶も小さいものを間に合わせて埋設してある。」故に説明の度に恥ずかしい思いもしている。	塩焼の設備什器に関しては、当時の塩づくりを学ぶことができるように整備したいと考えています。 頂いたご意見を参考に整備していきます。

	2-4	<p>(芝生広場)</p> <p>少々の業界に今でも“こびりついている”「芝生による緑化が一番良い。」は止めて欲しい。浜辺浜手の植生を可能な限り復元復活し各植物に名札・立札を添えて近くの学校群の理科や生物の授業にも資するようにして貰いたい。(植樹にも通用で)</p>	<p>樹木につきましては、既存のものを活用し整備をしていきます。芝生広場は、来場者の休憩スペースとして整備していきます。</p>
	2-5	<p>(階段ベンチ)</p> <p>作業観覧や休憩用に有って良いが、コンクリート被覆は再考を願う。四囲全てを腰石積で対応し、東側だけ、二、三段にした方が整合性がある。</p>	<p>観覧者用の腰掛けとして使用できるよう、頂いたご意見を参考に整備していきます。</p>
	2-6	<p>(施設整備配置図(案))</p> <p>創設の築山の東側の他に、北寄りの沼井の近くにもベンチがあるが、どうゆう心算なのか。仮に折畳式であっても塩田内に入れるのは、(取材時以外は)やめた方が良い。「製造は、神聖な仕事」という意識をもって従事していた人が(戦前は)殆どであると聞いている故、そうゆう大事なところ(志・タマシイ)を理解している人がいるのか少々心配になる図面である。鹹砂を壺に寄せた後で、記念写真の為にベンチを入れるのを特認される予定なのか、単なる無思慮(手すさびか)明確にされたい。</p>	<p>施設整備配置図(案)の築山と北寄りの沼井の近くにあるベンチにつきましては、現在のゲートボール場に置かれているベンチ(現状地物)を示しています。復元塩田整備に際して、復元塩田の中にそのようなベンチを配置する予定はございません。</p>
2	2-7	<p>現歴史民俗資料館のテレビ、ビデオを観賞する等の場所が、屋内製塩体験空間とあるが、文章として設備の説明がないのは何故か。</p>	<p>屋内製塩体験空間では、主に塩田で採取したかん水を使い塩焼き体験ができる場所として整備していきます。</p>
	2-8	<p>現資料館の改築等の話も出ていていると聞いているが、内容や詳細は、いつ、どこで明示するのか。</p>	<p>現資料館の改修等につきましては、詳細が決まりましたら明らかにしていきます。</p>
	2-9	<p>隣地にある某「復元古墳」は、これを機に真の復元にする計画はあるのか。学芸員某氏他の話によると、「復元」又は移築当時の予算の都合で、「安普請に終わっている」し、現物を視れば、(少し知識のある人なら)、それと判る状態です。第一、芝生で覆って「復元」なんて、古墳の主(帰幽者)に対して不敬かつ失礼でしょう。</p>	<p>現状では、「復元古墳」を真の姿に復元する計画はございません。芝生の被覆は、砂の飛散や古墳の崩壊を防ぐために必要であると考えています。</p>

3	3-1	<p>西尾市は海・山に囲まれた緑豊かで、風光明媚な土地柄もあり、西尾城・一色の大提灯や吉良上野介のお寺、さらには、綿神社など歴史的文化財・お祭りも数多く存在します。又、地場産業に於いても、憩いの農園、一色のさかな広場の他、お茶、抹茶や野菜の生産地でもあり、新鮮な野菜や季節の野菜がすぐ手に入ります。これらを総合的に考えた時、市内で観光的要素がこれほど揃っている地域はそう多くは見当たらず塩田の復元施設は、西尾市独自の観光の目玉として、各方面への観光 PR は十分可能かと思えます。個々の観光活動とは別に、今復元塩田を中心とした西尾市独自の総合的観光・・・例えば最近人気の日帰り観光バスツアーの様なことは如何でしょうか。</p>	<p>この塩田復元整備によって、かつての吉良の塩づくりについて市外や県外各方面にPRをし、多くの方々に利用していただけるよう、地域の観光ネットワークの拠点として整備したいと考えております。</p>
---	-----	---	--